

子どもの異物誤嚥・窒息についての勉強会を救命救急科の先生にいただきました。

誤嚥とは、窒息とは何か？

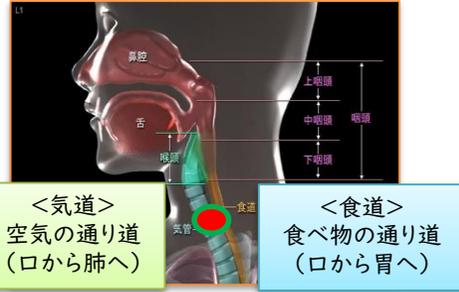
◎誤嚥

異物が気道に入り込んでしまった状態

◎窒息

異物が気道をふさいでしまった状態

- ・気道の直径・大人2cm
- 乳幼児 1cm未満

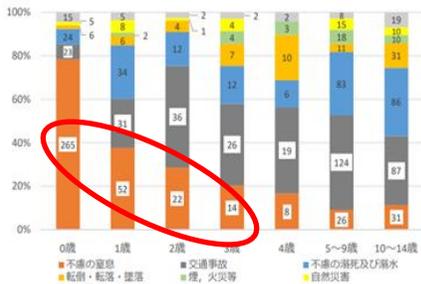


<気道>
空気の通り道
(口から肺へ)

<食道>
食べ物の通り道
(口から胃へ)

なぜ子どもは起こりやすいの？

不慮の事故の死因別死者数 (年齢別比率)
(平成29年～令和3年)



- ・乳幼児は呼吸機能が未熟のため、長く息をこらえることができない
- ・気道が開く時間が長く、誤嚥の機会が増える
- ・歯が生えそろっておらず、食物を丸呑みする
- ・喉頭(のど)の防御反射が弱い

子どもの不慮の事故の発生傾向～厚生労働省「人口動態調査」より

窒息が起こったらどうなるの？

のどの近く

窒息になりやすい(危険!)

- ・顔色が青白い
- ・チョークサイン

肺の近く

- ・せき
- ・ゼーゼーする呼吸

知っておくことで
防げる!助けられる!

・酸素が送れないと脳に障害が出る

・呼吸停止の時間が長いと後遺症が残る可能性が高くなる



窒息の応急処置

0歳児



背部叩打法

- ・掌であごを支える
- ・掌の付け根で背中を力強くたたく



異物が出るまで
繰り返す

胸部突き上げ法

- ・掌で後頭部を支える
- ・両乳首の間を胸の1/3の深さまで圧迫

1歳児以上



腹部突き上げ法 (ハイムリック法)

- ・みぞおちの下、片方の手は握りこぶしを作る



- ・その手で下から上に引き上げるように圧迫

- ◆ 異物がとれない場合
→呼吸停止(意識消失)→心停止となる
- ◆ 少しでも脳に酸素を送るためには**胸骨圧迫開始する**

誤嚥を防ぐためにできること

- ◆ 子どもの口に入る4cm以下の物は身の回りに置かない
- ◆ 野菜や果物はつぶしたり、小さく切って与えましょう
- ◆ 食べながら遊んだり、走ったりするのを避けましょう
- ◆ 子どもが食べるときは必ず側にいましょう

子供の口の大きさは



***大事なことは・・・事故が起こらないような環境作り
起こるかもしれないという意識をもつこと**

利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日
午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら

